

適用規格		TÜV, UL 取得予定			
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +105℃ (通電による温度上昇分を含む)	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 600 V , DC 600 V	_____	_____	
	電 流	16 A(1.25mm ² 電線使用時) 21 A(2mm ² 電線使用時) 30 A(3.5mm ² 電線使用時) 40 A(5.5mm ² 電線使用時)	適合ケーブル	1.25mm ² (AWG 16) 2mm ² (AWG 14) 3.5mm ² (AWG 12) 5.5mm ² (AWG 10)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。	1 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 2500 Vの電圧を1分間印加する。(NECA C 2811)	せん絡・絶縁破壊がないこと	○	—
	短時間耐電流	150A 1秒で測定する。(1.25mm ² 電線使用時) 240A 1秒で測定する。(2mm ² 電線使用時) 420A 1秒で測定する。(3.5mm ² 電線使用時) 660A 1秒で測定する。(5.5mm ² 電線使用時) (JIS C 8201)	接触抵抗：1.5 mΩ以下	○	—
機 械 的 性 能	圧着端子の挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 70 N 以下	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①機能（互換性）を損なう破損、ひび、 部品のゆるみがないこと。 ②接触抵抗：1.5mΩ以下 ③挿抜力 70 N 以下	○	—
	耐振性 	周波数 10～55Hz、片振幅0.75mmで 3方向 各2時間試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件 I)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 500 m/s ² 、持続時間 11 ms、 3軸計 6方向 各5回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	端子固定力  	結線側より、電線毎に引き抜き力を加える。 1.25mm ² ：50N、2mm ² 、3.5mm ² ：100N、 5.5mm ² ：100N	破壊がないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40±2℃、相対湿度90～95%、96時間放置 常温・常湿の室内に戻して付着した水分を拭き 取る。(NECA C 2811)	①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐寒及び耐熱試験	-25±3℃に2時間放置後取り出し、常温に1時間 放置する。その後、70±3℃に2時間放置後取り 出す。(NECA C 2811)	①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	エージング試験	16A (1.25mm ² 電線使用時)、 21A (2mm ² 電線使用時)、 30A (3.5mm ² 電線使用時) 40A (5.5mm ² 電線使用時) の電流印加状態で40±3℃に10分間放置後、 30℃まで冷却し、10分間放置する。このサイク ルを192回実施する(JIS C 8201)	①接触抵抗：1.5mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-C-00005906	DS. MATSUNE	HN. TANAKA	20210323
備考 (注1)：上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			承認	TP. KOMATSU	20201224
			検 図	HN. TANAKA	20201224
			担 当	DS. MATSUNE	20201224
			製 図	DS. MATSUNE	20201224
注 QT：確認試験 AT：製品検査 ○：適用項目			図番	SLC-394641-00-00	
	製 品 規 格 表		製品名	EF2-D30BA-1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0142-0140-0-00	 1/1